

活動名: SUPER COPA 夏 波崎遠征
日 程:平成30年7月21日～22日
会 場:神栖市梅原グランドほか
参 加:L100クラス9名(6年生8人、4年生1人)
帯 同:設楽・渡辺コーチ
結 果:24位/32チーム中
報 告:設楽

昨年度は夏の大会ではなく、12月の冬の大会へ参加し、その時のメンバーが多く参加してくれた波崎遠征「SUPER COPA 夏」に9名のL100クラスメンバーで参加してきました。

参加対象人数も少ないことから、貸切バスは高価となるため、私が運転する10名乗りのハイエースレンタカーと渡辺コーチ車輛で会場へ向かいました。

朝6時過ぎの集合出発だったので車中は寝て行くものと思っておりましたが、全く寝ることも無く、各自朝食を済ませ、元気に会場へ着きました。



さて、会場に試合開始一時間前に着いたので、予定通りと思っておりましたが、本部から30分繰り上げて実施する旨を告げられ、慌てて自分たちの拠点作りをして各自試合準備のみアップする時間も無く、強豪の Wings12との第一試合に挑むことになり、それでも1点に防ぎ、得点するチャンスもありましたがあっという間の20分1本試合が終わってしまい、初戦から惜敗しました。

近日の気温により熱中症が心配でした。しかし、初日は福島よりは暑さ厳しくなかったのですが、長旅と時間変更によるアップ不足からしっかりと戦えず残念なスタートとなってしまいました。



初日の結果
Fリーグ
4位/6チーム

SUPER COPA
1ST STAGE

中位 (各グループ4位+各グループ別の2チーム) 8チーム
下位 (各グループ6位) 6チーム
*成績表は1勝3点、2勝6点、3敗得点の多少、4抽選の順とする

E	Wings	上本郷SC A	府中駒岡FC	浦安トレセン イエロー	ともぞうSC B	勝点	得点	失点	得失点	順位
千葉県		6-0	1-0	4-0	2-0	12	13	0	13	1
Wings										
千葉県										
上本郷SC A	0-6		0-3	0-2	0-1	0	0	12	-12	5
東京都										
府中駒岡FC	0-1	3-0		3-1	3-0	9	9	2	7	2
千葉県										
浦安トレセン イエロー	0-4	2-0	1-3		0-2	3	3	9	-6	4
栃木県										
ともぞうSC B	0-2	1-0	0-3	2-0		6	3	5	-2	3

F	エスベランサ戦子	東葛志野FC	FC Alliez	Wings U-12	1FCIII越	勝点	得点	失点	得失点	順位
千葉県		0-8	0-1	0-7	0-7	0	0	23	-23	5
エスベランサ戦子										
千葉県										
東葛志野	8-0		1-1	0-2	0-0	5	9	3	6	3
福島県										
FC Alliez	1-0	1-1		0-1	0-4	4	2	6	-4	4
千葉県										
Wings U-12	7-0	2-0	1-0		4-3	12	14	3	11	1
埼玉県										
1FCIII越	7-0	0-0	4-0	3-4		7	14	4	10	2

初日は公式戦4試合、フレンドリー2試合の計6試合をこなし、昨年の冬の大差がついた敗戦よりはしっかりと戦えました。しかし、「得点力・決定力不足」、「闘争心が無い」、「勝ちたい気持ちが見えない」、「体を入れられても入れ返すことができない」など気持ちが弱い部分からの課題が感じられました。その中でも昨年よりは大分成長して他チームとの差が感じられなくなったことは各選手たちの成長を感じました。

その結果、昨年は参加チーム中最下位でしたが、今回は「中位トーナメント」に進出することができました。

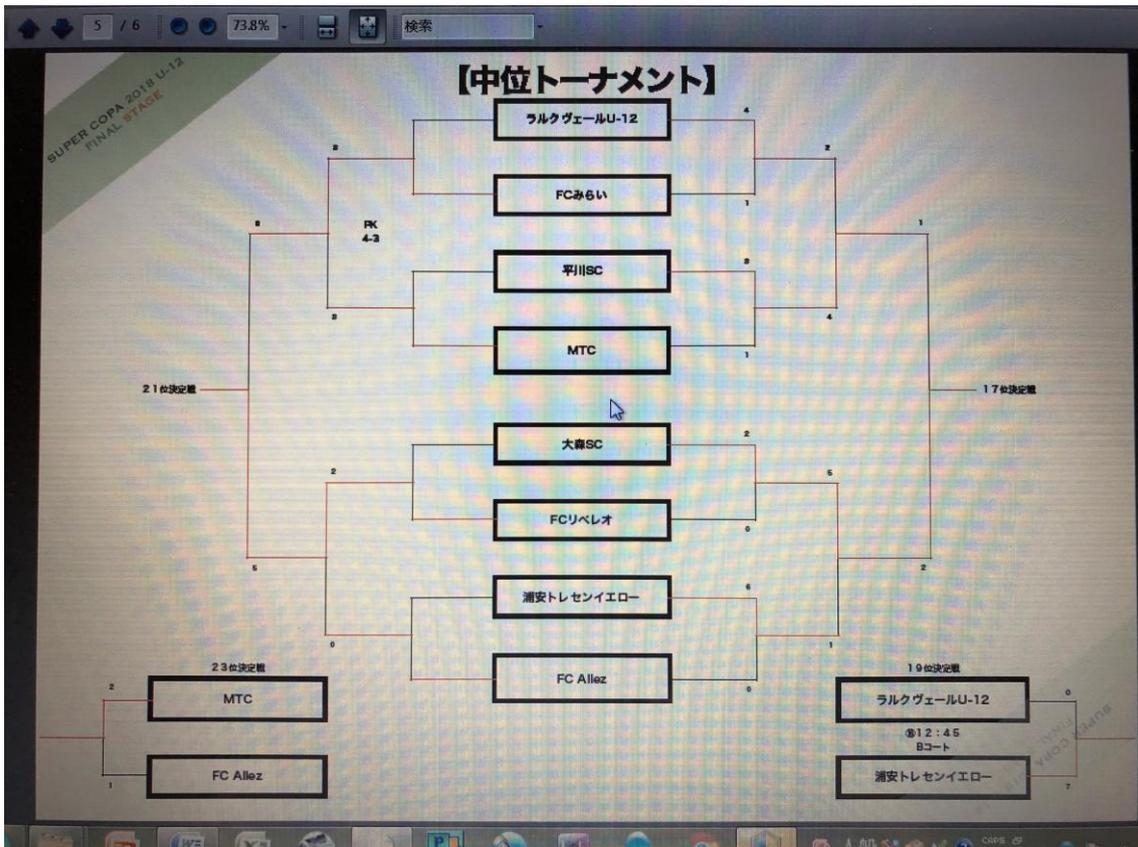


寝る前のミーティングでは、一時間余りの時間を取り、一人ずつ「今回の遠征に参加した気持ち」、「今日の試合の感想」を聞き、今日の足りなかったことの大きな一つであった「絶対に負けたくない気持ちの作り方」といったメンタルトシ的な話しをして、明日の試合に強い気持ちで挑むことの重要性、この遠征に参加できた親への感謝の気持ちを忘れないようモチベーションを高めました。





二日目の結果



結果 10 試合：1 勝 2 分 7 敗
 (公式 7 試合・フレンドリー 3 試合)

やはり、強豪が多く参加し試合ができるこの大会では、いつもと同じような気持ちでプレーしては何もできないで帰ることになります。そのため、今の選手それぞれの力や技術が発揮できるように私たちも厳しいコーチングをさせていただき、さらに成長する殻をそれぞれに破って欲しい気持ちでした。また、試合の状況から自分たちは個々として相手に劣っていない技術を持っていることに気づいて欲しく、ここぞという場面では大きな声で気付かせるコーチングも行いました。その結果、二日目は大分プレーが良い方向に変化してきた選手もいたので嬉しく頼もしく感じました。

当たりの厳しい試合でしたので、骨折といった大きな負傷をする選手や二日目の熱さにやられ熱中症になる選手もいましたが、なんとか8人制の規定人数で戦うことができホッとしております。

他には・・・

6年生が主であったため、宿舎でも自分のことは自分ででき手がからず、食事の準備や部屋の整理などもスムーズにでき、さすが六年生は違うと感じました。

集合写真による試合前等の顔の変化でその時の様子が良くわかります（笑）





帰り車中では、モノマネ合戦やコーチのマネなど楽しませてくれました。

また、寝る選手もいなかったのもっと試合で動けたのでは？と思ってしまいましたが、サッカーはサッカーといった切り替えの速さには驚かされました（笑）

保護者の方々には、高額な参加費でも今回の遠征に参加させていただき、また現地で手伝いをしていただいたことに感謝いたします。

飲み物準備や凍らしたボトルのクーリングサポートなど大変助かりました。差し入れをいただき、ほとんどの保護者が会場にお越しいただき応援していただいたことにも大変感謝いたします。ありがとうございました。

冬のコパ大会もあるようですが、選手たちのこれからのサッカーへの取り組み姿勢などを考慮しながら出場を検討していきたいと思います。

これから行われる TOMITA ファミリーフェス、me&you 大会での活躍を期待したいと思います。

コーチ：設楽